



第73回日本皮膚科学会西部支部学術大会

イブニングセミナー1

# ヘルペス感染症 (帯状疱疹・単純疱疹)関連

2021. **10/30** **±** 16:50-17:50

A会場

シーガイアコンベンションセンター 2F 中会議室 ファウンテンルーム  
〒880-8545 宮崎市山崎町浜山

座長

外山 望 先生 外山皮膚科 院長

講演 1

皮膚科医だからこそ！  
使いこなそうデルマクイック、  
アメナリーフ

渡辺 大輔 先生  
愛知医科大学 皮膚科 教授

講演 2

患者ニーズにフィットした  
性器ヘルペスの治療  
～ステージ別の患者マネジメント～

澤村 正之 先生  
新宿さくらクリニック 院長

## 講演1

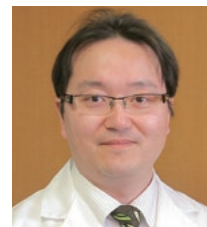
# 皮膚科医だからこそ！ 使いこなそうデルマクイック、アメナリーフ

渡辺 大輔 先生 愛知医科大学 皮膚科 教授

コロナ禍による不安、ストレスで帯状疱疹の発症は増加、重症化することが懸念されている。一方、ここ数年帯状疱疹の診断、治療において、新しい選択肢が出てきており、帯状疱疹診療を取り巻く環境は激変してきている。診断面ではイムノクロマト法によるウイルス抗原検査が登場し、外来での簡便で迅速な診断が容易になった、また治療面ではヘリカーゼ・プライマーゼ阻害作用を持つ新規抗ウイルス薬が出現し、1日1回での内服治療が可能となった。本講演では皮膚科医としてこれらの診断、治療のツールをいかに有効に使用できるかを皆さんと考えていきたい。

### ●ご略歴

1993年 名古屋大学医学部卒業	2002年 米国留学 (Harvard Medical School ポスドク)
1993年 厚生連加茂病院 研修医	2004年 愛知医科大学 皮膚科 助教授
1994年 名古屋大学医学部附属病院 研修医	2007年 愛知医科大学 皮膚科 准教授
1995年 名古屋大学大学院医学研究科 医学博士学位取得	2010年 愛知医科大学 皮膚科 教授
1999年 名古屋大学医学部 助手 (病態制御研究部門 ウイルス感染)	



## 講演2

# 患者ニーズにフィットした性器ヘルペスの治療 ～ステージ別の患者マネジメント～

澤村 正之 先生 新宿さくらクリニック 院長

典型的な性器ヘルペスの症状は、水疱・皮膚びらんといった皮膚症状と、局所的な違和感・疼痛・痒痒感・座骨神経痛といった神経刺激症状があって、これらは疲労や寝不足・性的刺激・生理周期等の再発誘引の後に起こることが多いことはよく知られている。一方、患者の精神的なダメージは皮膚症状や神経刺激症状が軽くても進行性で、場合によっては自殺を企てる患者がいることはあまり知られていない。治療に際して患者の精神的なダメージを考慮するかしないかで、同じ治療をしても患者の満足度は大きく変わってしまう。医師にとって最善の策は、初感染時・再発時・再発を繰り返す場合のそれぞれのステージ別に治療薬や治療方法を提案することで「ヘルペスはコントロールできる病気」であるという情報を患者と共有し、患者を積極的に治療に参加させることによって、感染する前と同じように振る舞えるようにサポートすることである。特に再発時治療として近年行われるようになったPatient Initiated Therapy (PIT)について、その導入時と運用についての注意点について、症例経験を交えて解説する。

### ●ご略歴

1976年 北里大学医学部入学	1993年 新宿さくらクリニック開業
1982年 北里大学医学部卒業 泌尿器科学教室入局 北里大学病院、北里研究所病院 等 研修	2016年 日本皮膚科学会総会教育講演 「性器ヘルペス」担当
1987年 防衛医科大学校泌尿器科 助手	2020年 日本皮膚科学会総会教育講演 「性器ヘルペス」担当

